



平成 30 年 6 月 4 日
佐賀大学理工学部

花田 英輔教授が「電波の日」九州総合通信局長表彰を受賞

【概要】

知能情報システム学科の花田 英輔 教授が、平成 30 年 6 月 1 日に開催された「電波の日・情報通信月間」記念式典において、九州総合通信局長の個人表彰を受けました。

【本文】

平成 30 年 6 月 1 日(金)に熊本市内のホテル日航熊本で開催された平成 30 年度「電波の日・情報通信月間」記念式典において、知能情報システム学科の花田 英輔 教授が九州総合通信局長表彰を授与されました。

「電波の日・情報通信月間」記念式典は、昭和 25 年に電波法、放送法および電波監理委員会設置法が施行され、電波が広く国民に解放されたことを記念して設けられた「電波の日」(6 月 1 日)に毎年行われています。電波を所管する総務省および総務省の全国 11 の総合通信局において、電波利用及び情報通信の発展・普及等に功績があった個人あるいは団体を表彰します。今年度は九州総合通信局長表彰(2 個人と 2 団体)、情報通信月間表彰(2 個人と 3 団体)、九州電波協会会長表彰(1 個人と 1 団体)の 3 種があり、花田教授は九州総合通信局長表彰を個人で受賞しました。

表彰式では、その功績について「九州地域の医療機関における電波利用推進協議会」の座長として、適正な電波利用環境の実現に向けた提言や周知啓発のための説明会の実施にあたり先導的な役割を果たすなど、医療機関における安心・安全な電波利用の普及促進に多大な貢献をされました」との紹介がありました。

花田教授は医療情報学と病院設備学が専門で、佐賀大学赴任前の 18 年半にわたる大学病院勤務を通して、病院情報システムや遠隔医療システムに加え、医療機関における電磁環境の管理及び無線通信の有効活用を主な課題とし、佐賀大学赴任後も継続して研究を続けています。

医療現場において無線 LAN や IC タグが利用される時代となり、今後ますます電波利用が発展すると考えられる今日、花田教授の研究成果が活かされ、より安全で効率のよい医療の遂行が期待されます。

なお、この表彰については総務省の Web サイトにも掲載されています。

(<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kyushu/press/180529-1-0.html>)



本年度の受賞者による記念撮影（前列右から3人目が花田教授）



写真：式典で表彰を受ける花田教授



授与された表彰状